

令和7年度愛知県伝統的工芸品産業功労者表彰受賞者名簿

(敬称略)

年齢は 2025 年 10 月 16 日時点

伝統的 工芸品名	氏 名	年 齢	現 住 所	概 要
有松・鳴海絞	久野 剛資 (くの つよし)	70	名古屋市長古区	愛知県絞工業組合理事として需要開拓のための調査や、ポリエステル系繊維の形状加工を可能とし、新商品開発を行うなど有松・鳴海絞の発展に尽力した。また、有松絞教室を開設し、絞りのくくり方や染色技術の指導をし、後継者育成に貢献している。
常滑焼	水野 吉興 (みずの よしおき)	73	常滑市	とこなめ焼協同組合理事及び監事として焼き物業界の発展や原材料の確保に務め、常滑焼の振興に貢献している。また、常滑市新庁舎陶壁の制作においては、若手作家と協力し多くの課題をクリアしつつ無事完成させた。
三河仏壇	高橋 栄一 (たかはし えいいち)	60	岡崎市	三河仏壇振興協同組合理事として、斬新なアイデアを提案しブランドの立ち上げのための活動を通して三河仏壇の需要拡大に尽力した。また、小学校への出前授業の講師として三河仏壇のPR活動、後継者育成に貢献している。

令和7年度愛知県伝統的工芸品産業優秀技術者表彰受賞者名簿

(敬称略)

年齢は2025年10月16日時点

伝統的 工芸品名	氏 名	年 齢	現 住 所	概 要
有松・鳴海絞	越智 孝良 (おち たかよし)	(非公表)	(非公表)	「染め」技術に定評があり、作業風景がアパレルブランドのPRに使用されるなど、有松・鳴海絞の知名度向上に貢献した。また、後継者育成事業では、受講生が制作した浴衣の染色に協力し側面支援をしている。
常滑焼	梅原 幸隆 (うめはら ゆきたか)	52	常滑市	先代から受け継いだ技術に独自の形状、彫り及び絵付けを取り入れ、使いやすさを求めた新製品作りに挑戦している。また、愛知県立名古屋高等技術専門校 窯業校の訓練生の受入や、焼物に興味を持つてもらうため陶芸教室を開催するなど、地域振興や技術の継承に尽力している。
三河仏壇	齋藤 貴之 (さいとう たかゆき)	51	岡崎市	様々な塗りの技法を使い分け、制作する技術には定評がある。小学校出前授業の講師を務め「塗り」技術の普及・啓発活動に貢献している。組合活動には積極的に参加し、他産地の職人との交流や情報交換をしながら、技術向上及び産地振興に尽力している。
岡崎石工団地	戸松 政洋 (とまつ まさひろ)	51	岡崎市	伝統的技法に現代のニーズを取り入れ国産にこだわった作品を制作している。コンクールでは何度も受賞し、審査委員としても活躍した経験を持つ。また、組合理事として、学生の社会見学、職場体験などを行い、岡崎石工品の振興・普及に貢献している。